

事業所名: グループホームふるさと

作成日: 平成 31 年 2 月 20 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	『不適切ケア』とは何かを全員が正しく理解し、ご利用者のアセスメントに基づいた適切なケアができてきているか、お互いに確認し合える体制を整えたい。	ご利用者が適切なケアを受けながら、安心して生活する事ができる。	1) 身体拘束等適正化委員会で、不適切ケア(身体拘束・虐待など)案件の有無確認や、事例検討を行い、事例検討を通して不適切ケアについての意識を高める。 2) ご利用者やご家族からの要望や苦情は丁寧に聞き取り、その都度記録に残す。	12 ヶ月
2	26	ご利用者個々の身体能力、認知能力等を詳細にアセスメントし、有する(できる・できそうな)能力の維持・向上に繋がるような支援を行っていききたい。	それぞれのご利用者が、自分の有する能力を活かしながら、自分らしく生き活きと暮らす事ができる。	1) アセスメント時にフェイスシート、センター方式C-1-2シートを使用し、ご利用者の有する能力を確認する。 2) ご利用者の有する能力の維持・向上に繋がるような活動やリハビリをケアプランに反映する。 3) ご家族とのサービス担当者会議を行い、意見を頂く。	12 ヶ月
3	35	火災・自然災害に対する防災意識や備えを、より多方面で充実させたい。	全職員が防災意識を持ち、火災・自然災害時には落ち着いて行動することができる。	1) 法人の防火・防災担当者を確認しながら、BCP(災害時事業計画プラン)の整備を行う。 2) BCP、災害時支援シートは、備蓄品と同じ場所に保管し、職員全員がその保管場所と内容を把握する。 3) 避難訓練時に毎回、ハザードマップの内容と備蓄品等の保管場所を確認する。	12 ヶ月
4	45	それぞれの入浴に対する習慣や好みを大切にしながら、更に入浴を楽しめる体制づくりや工夫を、計画的に行っていききたい。	個々の希望に沿った入浴支援を行い、ご利用者が入浴を楽しみにする事ができる。	1) 冬至には柚子湯、端午の節句には菖蒲湯、などの年中行事に合わせ、入浴しながら季節を感じられる工夫を行う。 2) 行事や外出予定なども踏まえて、一週間前に入浴計画を立て、ご利用者の意向を優先しながら入浴を実施する。	12 ヶ月
5					ヶ月